

市のお金は適正・効率的に使われたか？

決算
審議

平成28年度の予算執行状況をチェック！

前回の9月定例会で提出されていた平成28年度会計決算議案について、12月定例会初日に採決を行い、全ての決算議案を認定しました。
なお、決算内容の詳細については「広報津山1月号」に掲載されていますので、あわせてご覧ください。

平成28年度はこんな事業がありました。



つやま産業支援センターの地域企業・産業支援により、雇用と経済を活性化



アルネ津山に親子ひろば「わくわく」と一時預かりルーム「にここ」を設置



美作材の海外販路拡大を目指し、韓国でのアンテナショップ開設を支援



旧阿波小学校を改修し、農産物加工施設として整備

職業、ジブン。
ここでしかできない仕事。
ここしか、なれない自分。



市外在住者に津山市の魅力をPR（シティプロモーション）

私はこう考える！ 反対討論

美見みち子議員 一般会計決算について、歳入の地方消費税交付金には、増税に反対していた消費税が含まれている。また、個人情報漏洩等が懸念されるマイナンバー制度関連費用なども含まれていることから反対する。（その他4決算議案に反対）

原材料費の大幅増額



秋久憲司議員

問 原材料費が他の費目に見られない大幅な伸びを示しているが、どのような事業によるものなのか？

答 主に鳥獣害防止対策のワイヤーメッシュ・電気柵等の資材や市道・水路等の補修材料を地元に交付したものである。近年、増加する猪や鹿の農作物被害防止に積極的に対応している。

収納率アップの理由は？



美見みち子議員

問 平成28年度の市税・国民健康保険料の収納率が前年度より向上した理由は？

答 賦課から徴収まで公平・公正の大原則を職員が十分理解し、厳格に業務遂行したことに加え、金曜日夜間窓口、毎月末の日曜日納税窓口、コンビニ収納等の整備に力を注いだ結果だと考えている。

つやま産業支援センターの成果



安東伸昭議員

問 つやま産業支援センターの取り組み成果は？

答 積極的な企業訪問、高い技術を活かした製品開発や自社ブランド化、工場の自動化・省力化による生産性の向上、企業人材の育成など、継続的な取り組みを行うことで、年度ごとの成果が得られているものと考えている。

ガラスハウス運営委託料

中村聖二郎議員

問 グラスハウス管理運営委託料が前年に比べ増加しているが、その効果は？

答 施設経営が安定し、新たな会員募集やPR活動等に取り組んだ結果、平成28年度の利用者数は12万849人で、一定の来場者数を確保できている。また、平成29年7・8月の来場者数は、津山市に移譲以降、最高の人数であった。

国際観光客の誘客状況

金田稔久議員

問 国際観光テーマ地区誘客促進協議会負担金の支出について、この協議会の活動状況は？

答 本協議会の津山市実施事業として、台湾人ブロガーや旅行エージェントなどの招請、視察ツアー等の受け入れを行った。津山さくらまつりの外国人客の増加、阿波地区での台湾人ツアーの定期実施など、実績を上げつつある。

なぜ？
どうして？
徹底審議

